

富士市の今後の少子化対策に関する政策提言書

2025年（令和7年）10月15日

少子化対策緊急タスクフォース

目次

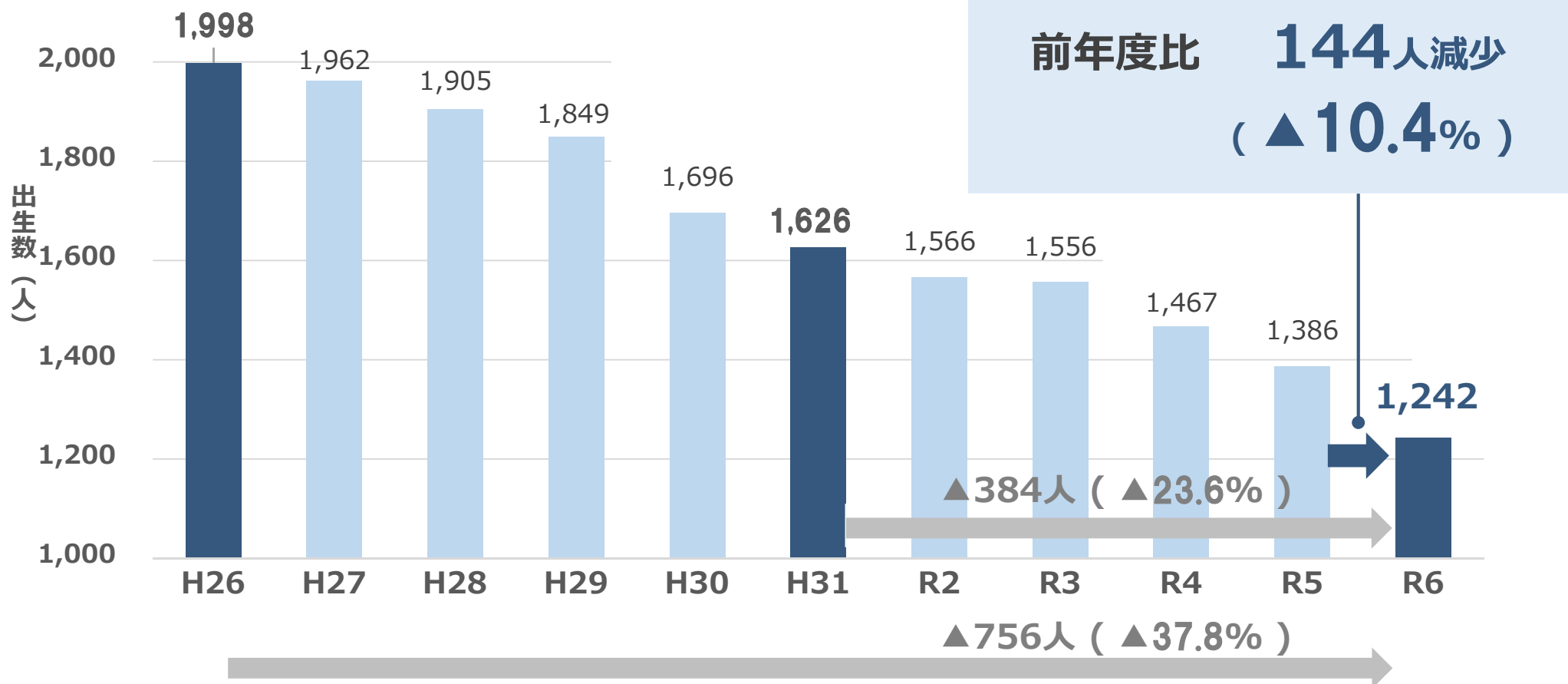
- 1 現状の把握**
- 2 少子化対策の今後の進め方**
- 3 政策提言に向けた整理**
- 4 政策提言（プロジェクト）**

1 現状の把握

出生数の推移

出生数の減少は危機的な状況
今がまさに正念場です。

富士市の出生数の推移



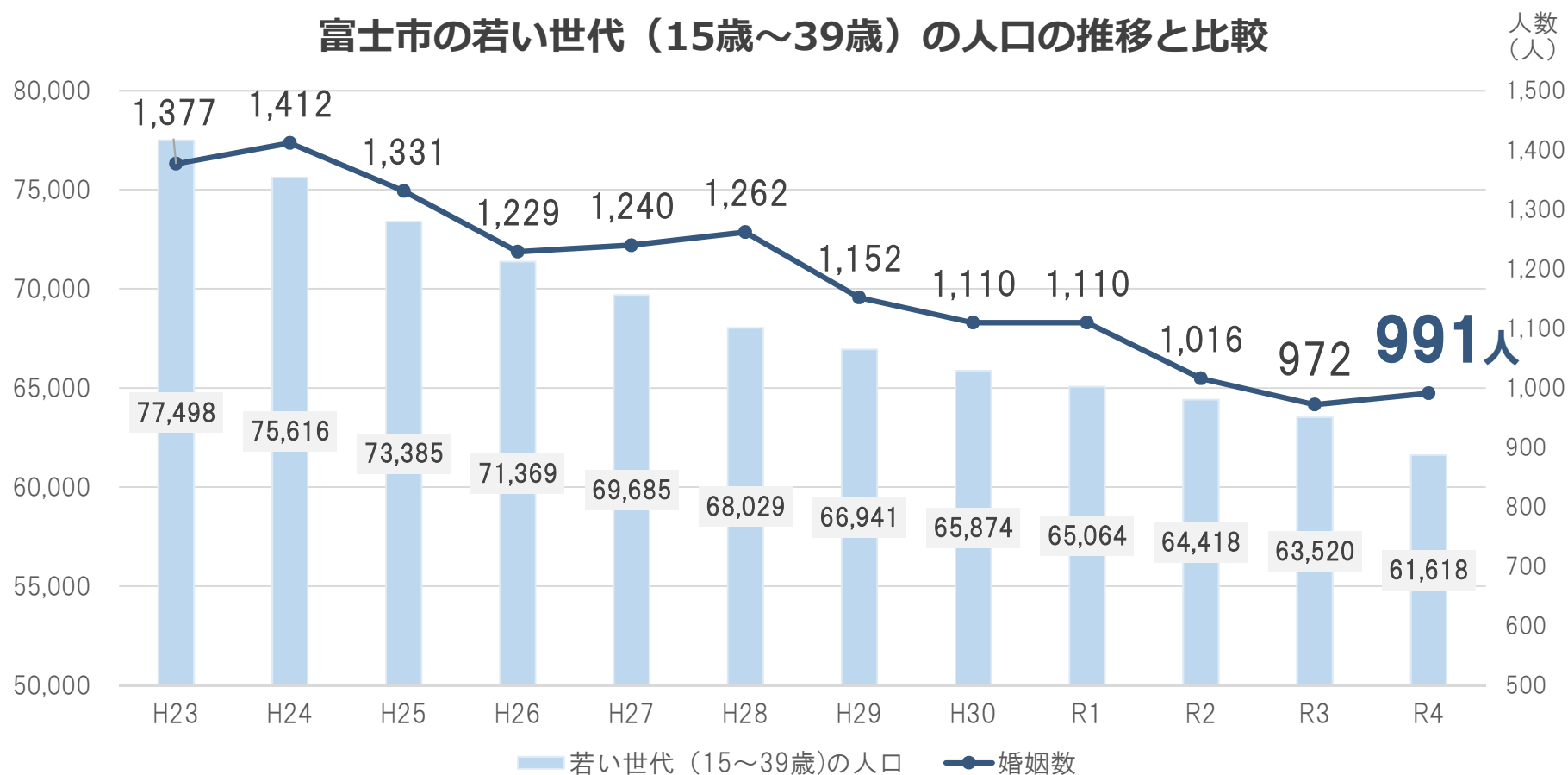
出典:富士市住民基本台帳(年度)

婚姻件数の推移

婚姻件数は減少傾向にあります。

富士市の婚姻件数の推移

富士市の若い世代（15歳～39歳）の人口の推移と比較

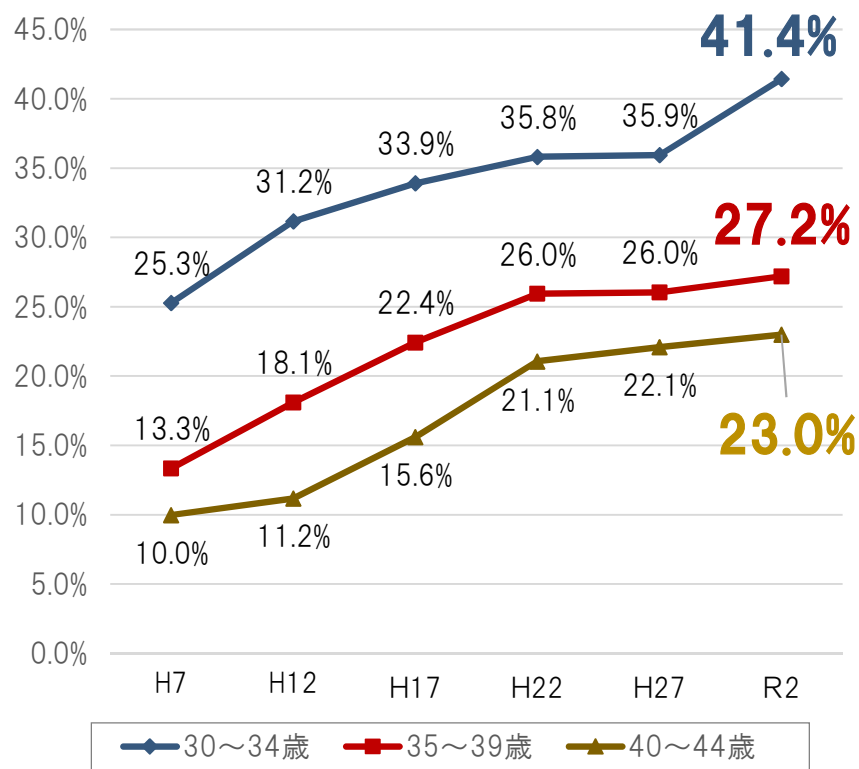


出典：静岡県人口動態統計、富士市住民基本台帳（各年4月1日）

未婚化・晩婚化の状況

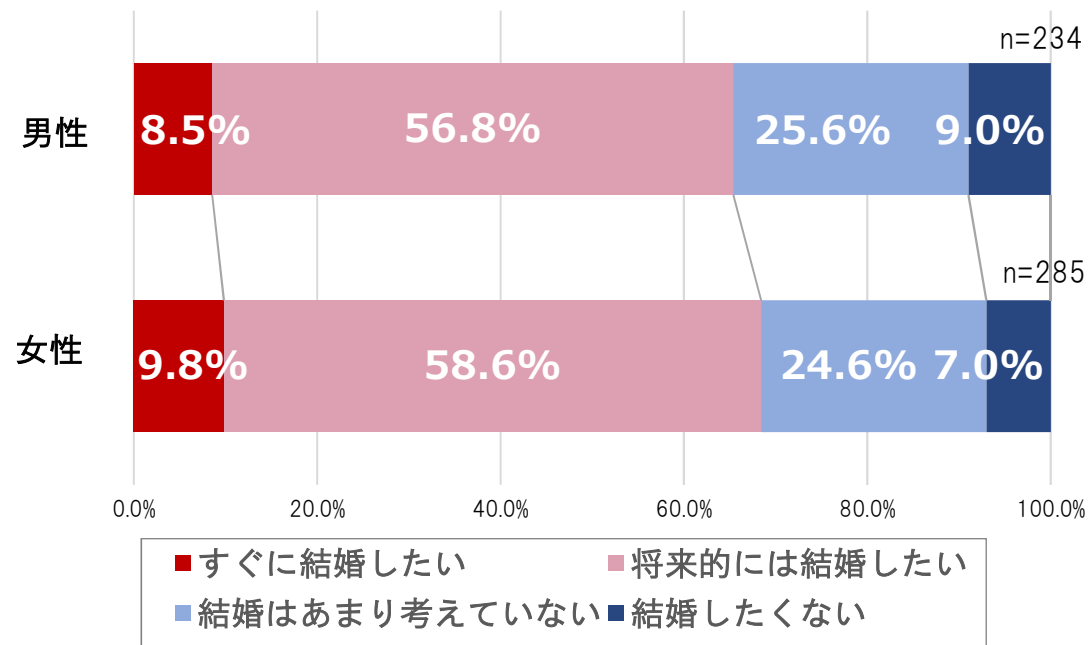
未婚化が進行しています。

富士市の年齢別未婚率の推移



出典：総務省「国勢調査」

将来の結婚願望（富士市）



出典：富士市「少子化対策アンケート調査（令和6年）」

結婚についての意識

「今すぐ結婚を考えていない理由」は多様にあります。

男性

1 相手がいないから 58.5%

2 出会いがないから 49.7%

3 収入や雇用の面など、経済的に不安があるから 47.7%

女性

1 相手がいないから 41.4%

2 仕事、学業、趣味などやりたいことがあり、そちらを優先したいから 38.0%

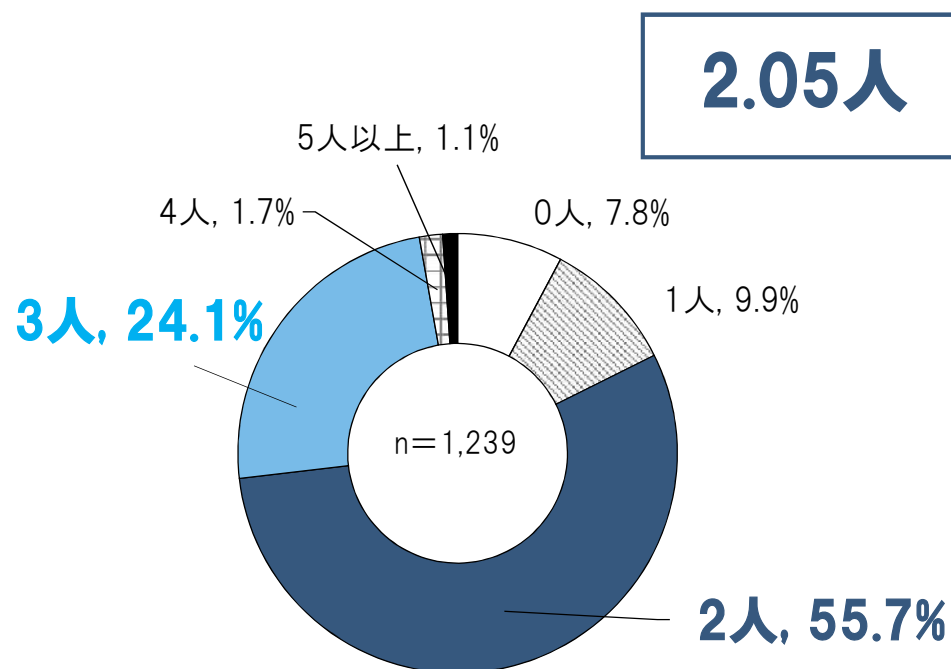
3 出会いがないから 36.7%

出典：富士市「少子化対策アンケート調査（令和6年）」

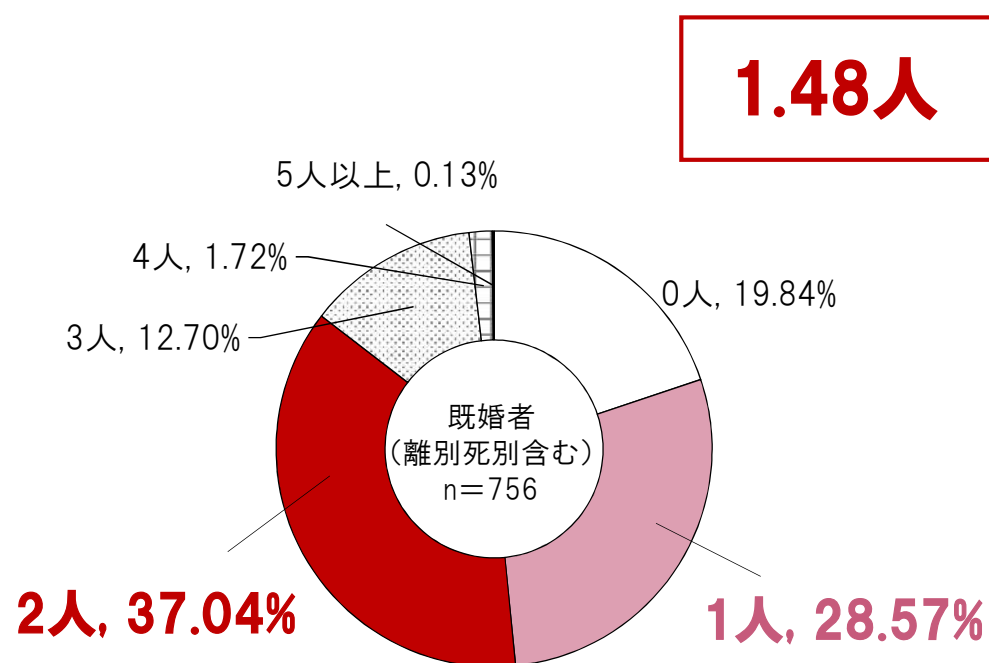
理想とすることどもの数の意識

こどもの人数は「理想よりも現実の方が少ない」状況にあります。

理想的なこどもの人数（富士市）



実際のこどもの人数（富士市）



出典：富士市「少子化対策アンケート調査（令和6年）」

理想とすることどもの数の意識

理想のことどもの人数より現実が少ない理由（富士市）

男性

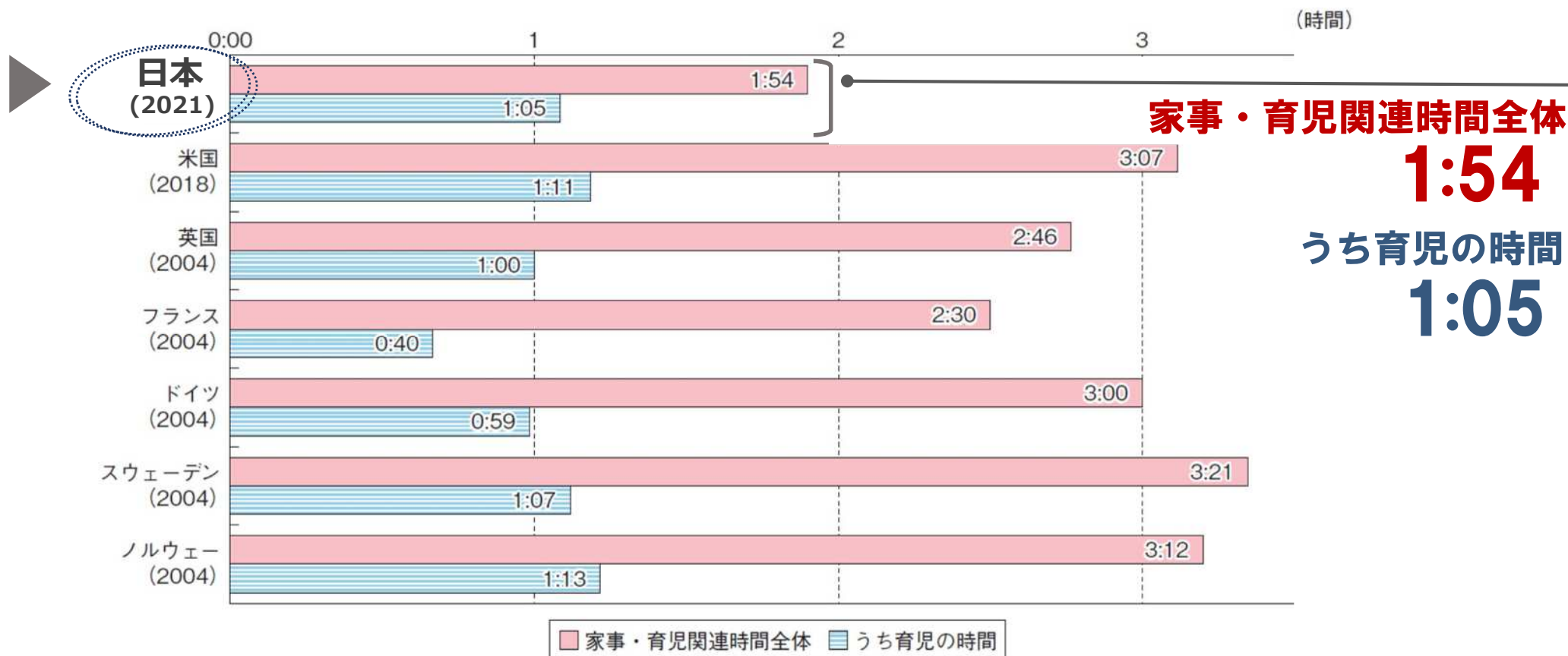
- 1 金銭的な不安や問題によるため 73%
- 2 子育てや家事への負担が大きいいため 51%
- 3 子どもの預け先について不安があるため 37%
- 4 行政の子育てサービス等に期待できないため 32%
- 5 自身または配偶者(パートナー)の年齢的な問題 25%

女性

- 1 金銭的な不安や問題によるため 68%
- 2 子育てや家事への負担が大きいいため 50%
- 3 行政の子育てサービス等に期待できないため 25%
- 4 子どもの預け先について不安があるため 24%
- 5 自身または配偶者(パートナー)の年齢的な問題 24%

家事・育児関連時間 ①

日本の家事・育児時間は、諸外国と比較して少ないです。



(出典) Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men” (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. “American Time Use Survey” (2018) 及び総務省「令和3年社会生活基本調査」
(注) 日本の数値は、夫婦とこどものみの世帯の夫の時間である。

出典：こども家庭庁「令和6年版こども白書」

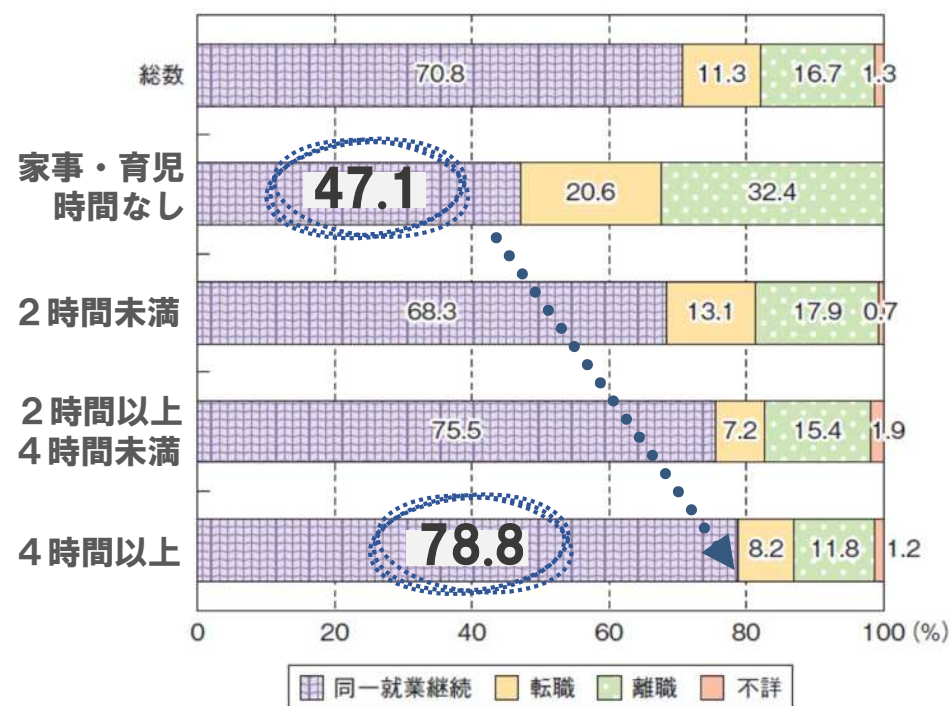
家事・育児関連時間 ②

夫の家事・育児時間が長いほど…

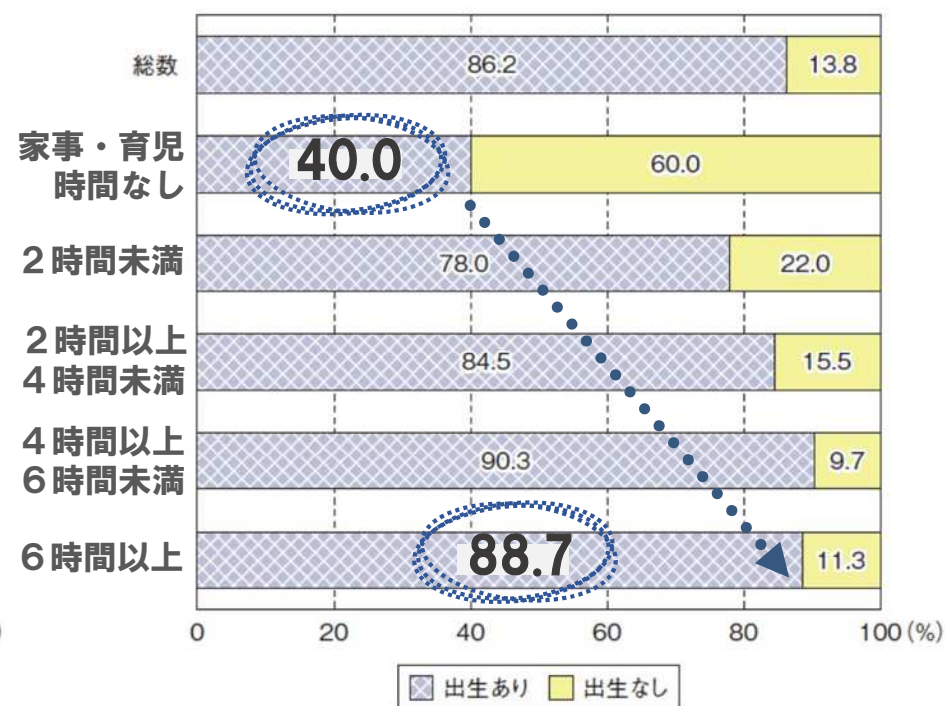
女性（妻）の就業継続が高い傾向にある

第2子以降の出産割合が高い傾向にある

夫の平日の家事・育児時間別にみた
妻の出産前後の継続就業割合



夫の休日の家事・育児時間別にみた
第2子以降の出生割合



出典：こども家庭庁「令和6年版こども白書」

少子化は様々な要因が複合的に絡み合っている

社会的な要因

結婚への意欲・機会の減少

経済的・生活基盤の弱さ

仕事と家庭の両立の困難さ

育児負担の重さ

市外への人口流出

主因

婚姻件数の減少

未婚化の進行

晩婚化、晩産化の進行

有配偶出生率の減少

女性人口の減少

少子化の進行

本市でも様々な要因
が複合的に絡み合い
少子化が進行

現状把握のためのヒアリングの実施

経営者、従業員、市議会議員、大学生にヒアリングを行い、データでは把握できないリアルな声を幅広く伺いました。

1 経営者・管理部門担当者等とのヒアリング

- 富士商工会議所青年部との意見交換会
- 企業訪問
- 企業間交流会へ参加
- 富士市中小企業等振興会議での意見聴取



2 従業員とのヒアリング

- はぐくむF U J I オフィシャルサポーター認定企業の従業員との意見交換会
- 訪問企業の従業員との意見交換



3 市議会議員とのヒアリング

- 40歳代以下の市議会議員との意見交換会



4 大学生とのヒアリング

- 常葉大学経営学部 ofゼミ学生とワークショップ
- 市役所インターンシップ大学生への聞き取り



ヒアリング結果の整理

1 子育て支援について

- 相談できる場所がない
- こどもを預ける場所がない
- 子育て・家事の負担が大きい
- 経済的な不安がある
- 送迎や家事の時間的余裕がない
- 情報が不足している

2 働く環境について

- 休暇制度はあるが使いにくい
- 福利厚生が充実していない
- 子育て中にキャリアが途切れる
- 女性が活躍できる業務が限られる
- DXやAIに対応したリスキリングが必要
- 女性用トイレ・更衣室の整備が必要
- 経営者自身の意識改革が必要
- 若手従業員の採用が難しい

3 暮らしの環境について

- 若者・子育て世代向けの住宅支援が必要
- 交通利便性が悪い
- 教育の選択肢が少ない

4 にぎわい・魅力について

- 職場での出会いがない
- 交流の場が不足している
- ふるさと納税の使い道の明確化が必要

5 まちのイメージについて

- 女性のロールモデルがない
- 起業家の養成が必要
- 企業PRの強化が必要
- 市の制度を知らない
- 富士市に戻るメリットを感じない

2 少子化対策の今後の進め方

本市のこれまでの少子化対策について

令和3年に「はぐくむF U J I 少子化対策プラン」を策定

本プランに基づく施策を実施し、市民の希望の実現を後押しし、結婚、妊娠・出産、子育てに希望を持つことができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

また、毎年、アンケート調査を実施し、市民ニーズを踏まえた少子化対策を実施しています。



毎年アンケート
調査を実施



市民ニーズを踏まえた
少子化対策を実施

令和7年度の取組「はぐくむF U」I こども未来パッケージ2.0」

「安心感をはぐくむ」をコンセプトに少子化対策に重点的予算配分

(施策は一例)



“子育てしやすいまち富士市”
のイメージアップ

安心感をはぐくむ



オール富士市
少子化対策緊急タスクフォース設置

1 みんなで子育て

- 職場環境整備企業応援セミナー
- 移動型外遊びの場創出事業

2 預かるを充実

- こども誰でも通園事業の拡充
- みらいてらすの見守り託児充実

3 家庭に寄り添う

- 家事・育児サポート事業の拡充
- 5歳児健康診査の実施

4 家計にやさしく

- 物価高騰対策支援
- おたふくかぜワクチン接種費用助成

5 若者を応援

- 奨学金返還支援事業
- 移住定住関連補助金
- 出会い交流促進事業

はぐくむF U J I「ストップ!!少子化」大作戦 ①

出会い・結婚を応援！

1

結婚新生活支援補助金の拡充

住宅取得費用、改修費用、賃貸費用及び引越し費用の一部を補助！

ココがすごい！

所得制限の撤廃
最大60万円



2

若者の出会い・交流機会の拡充

出会いや交流のきっかけづくりを応援！

開催回数
10回



3

結婚をする単身者向けの移住支援を拡大

東京圏から単身で移住した後に婚姻し、世帯を持った場合は、市独自で補助額を加算！

結婚加算は
富士市だけ！

100万円
(40万円加算)

はぐくむFUI「ストップ!!少子化」大作戦 ②

妊娠・出産を応援！

1 出産特別お祝い金の支給

ココがすごい！

こども1人につき

20万円

国の制度に
10万円上乘せ



2 不妊・不育治療費の 助成拡大

1年度間の助成金上限

最大100万円

助成額2倍
補助割合2/3

1子につき 最長 5年間



3 子育て・若者世帯 F-UIターン奨励金の新設

① 子育て世帯のUターン

最大 50万円

② 若者世帯のUターン

30万円

③ 子育て世帯のJIターン

最大 30万円

④ 若者世帯のJIターン

10万円

市独自の
移住応援

これまでの少子化対策の考察

これまで

当事者へのアプローチ

- 出会い・結婚、妊娠・出産、子育てを希望する人への支援
- その時々に応じた負担の軽減

「希望の実現」を後押ししてきたが …



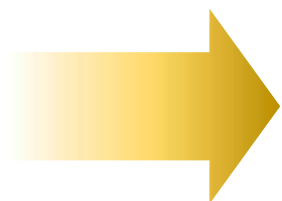
課題や
限界が
ある

出会い・結婚、妊娠・出産、子育てについて…

- ・ 希望する人ばかりではない、希望を持ってない人がいる
- ・ 希望はあるのに、あきらめざるを得ない人がいる
- ・ 支援が当事者に届いていない（知らない、使えない）
- ・ 不安を感じたり、負担を強いられる人がいる
- ・ 負担やつらい話ばかりを聞いて、楽しめない、喜びを感じられないでいる人がいる

考察を踏まえた今後の少子化対策のあり方 ①

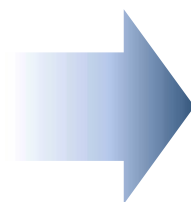
さらに少子化対策を強力に進めていくために



社会全体・地域ぐるみで
少子化に向き合う必要がある

これまで

当事者へのアプローチ



これから

当事者へのアプローチ
+
地域へのアプローチ

考察を踏まえた今後の少子化対策のあり方 ②

これから

当事者へのアプローチ + 地域へのアプローチ

当事者アプローチの課題や限界をクリアするため、社会全体の価値観や意識を変えていく！

- ✓ 当事者だけが頑張るのではなく、社会で支える
- ✓ みんなで（社会全体で）楽しさや喜びを共有、共感
- ✓ 多様な生き方や働き方に寛容な風土、社会へ



出会い・結婚、
妊娠・出産、
子育てについて…

- ・ 希望を持ってない人が、希望を持てる
- ・ 「諦め」に繋がっている 社会的な 障壁がない
- ・ 不安や負担を感じずに、自由に、自分らしい生活
- ・ マイナスイメージではなく、楽しみや 喜びを感じられる

考察を踏まえた今後の少子化対策のあり方 ③

✓ これまでの中心的な取組

① 子育て支援の充実

- 出会い・結婚期の支援の充実
- 妊娠・出産期の支援の充実

✓ さらに強力に進めていくために必要な取組

② 働く環境の改善

- 職場環境、就業条件の改善
- 子育て中でも働き続けられる環境

③ 暮らしの環境の充実

- 教育・住環境・利便性等の向上
- こどもが安全安心・快適に過ごせる

④ にぎわい・魅力の向上

- 子育てが楽しくなるまちの賑わいの創出
- 富士市で産み・育てたくなる魅力づくり

⑤ まちのイメージの転換

- 都市イメージの戦略的発信
- 社会全体で少子化対策に取り組む姿勢のPR

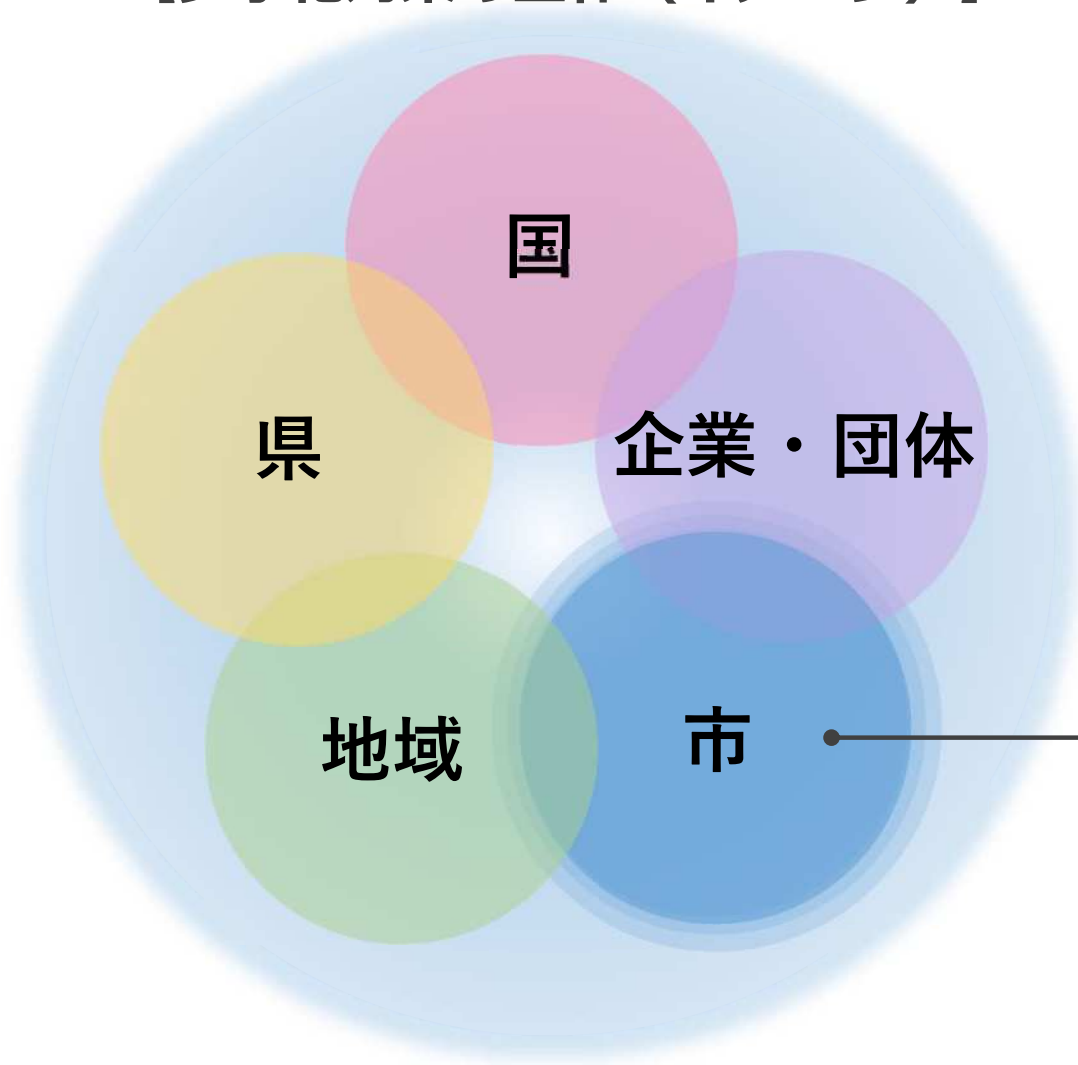
共通
課題

共通した課題は、
社会全体で取り組む機運の醸成

3 政策提言に向けた整理

全国的な少子化の進行における本市の立場・役割

【少子化対策の主体（イメージ）】



少子化は国全体レベルの難題であり、市だけでは根本的な改善は困難だが、市は、地域や企業等に近い立場で地域の特色に合ったアプローチができる。

小さな成功が住民の意識や行動を変える力になり、地域から全国へ広まり、社会全体にインパクトを与えることもできる。

— 市の立場・役割を踏まえた中で、いま、市ができる政策を立案し着実に実行する必要がある。

少子化対策緊急タスクフォースのミッション

タスクフォースの活動テーマ（提言の方向性）

- ✓ 産業都市ならではの取組を官民一体で推進する
- ✓ 民間ならできる、民間でなければできないことを後押しする
- ✓ 小さな一歩から始め、意識改革、行動変容、横展開へ繋げる

① 子育て支援の充実

② 働く環境の改善



③ 暮らしの環境の充実

④ にぎわい・魅力の向上

⑤ まちのイメージの転換



解決の道筋
を示す！



30歳代までの若手職員6名で構成／



✓ 10月中旬に政策提言

政策提言までの流れ（進め方）

1

政策提言の前提となる基本的な考え方



2

目指す将来の姿（ビジョン）の設定



3

目指す姿を実現するための戦略目標の設定



4

目指す姿と現状のギャップを埋めるための実現化方策
（プロジェクト）の提言

政策提言の前提となる基本的な考え方

社会全体で少子化対策に取り組む機運を醸成するため、企業や市民が理解しやすく、賛同していただけるよう以下3つの視点（考え方）を取り入れ政策提言を行います。

1 こども計画の理念

2 時代に合ったものの見方や考え方（パラダイムシフト）

3 バックキャスティング

こども計画の理念

- ✔ 少子化対策プランを包含した「富士市こども計画」の理念
「こどもまんなか」みんなではぐくむ やさしいまち ふじ
を踏まえた政策提言とする

【富士市こども計画（抜粋）】

こどもの権利を保障し、
身体的・精神的・社会的に
将来にわたって、幸せな状
態（ウェルビーイング）で
生活を送ることができるよ
う、社会全体、オール富士
市でこどもを応援していく
環境づくりを進めていく



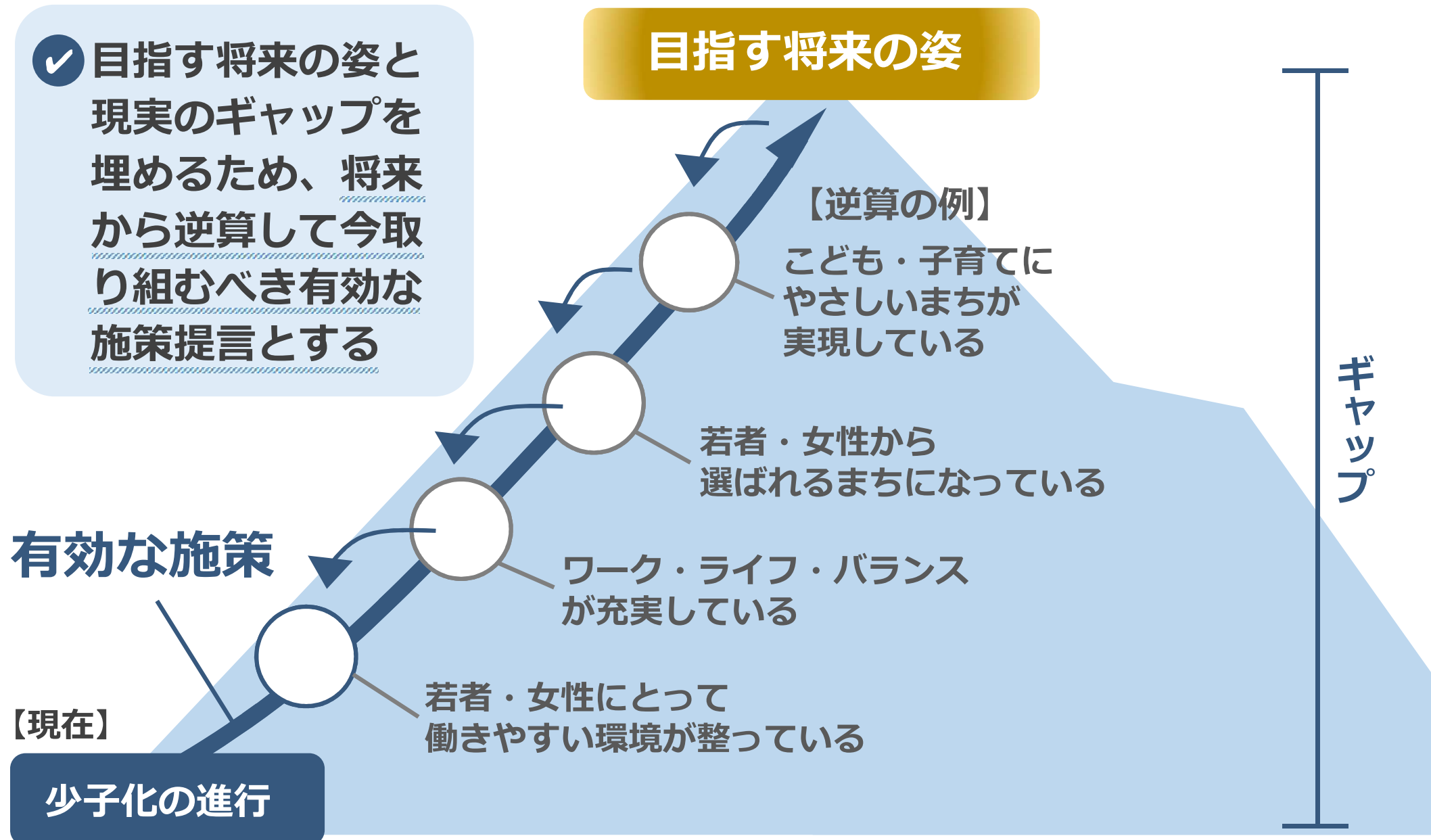
時代に合ったものの見方や考え方（パラダイムシフト）

✓ 縮小社会にあってプラスの好循環を起こすきっかけとなる政策提言とする



バックキャストिंग

- ✓ 目指す将来の姿と現実のギャップを埋めるため、将来から逆算して今取り組むべき有効な施策提言とする



目指す将来の姿（ビジョン）の設定

施策立案に当たり、富士市が目指す将来の姿(ビジョン)を設定しました。



目指す将来の姿（ビジョン）

～「ウェルビーイング」を実感できるまち～

激変する時代にあっても、本市で働きたい・働き続けたいと希望する全ての人が、自分らしく柔軟に働き、最適なワークライフバランスを確保し、持続可能でクリエイティブな産業の集積・成長によって、働く人も企業もウェルビーイングな状態となり、まち全体が未来に向かって進み、富士山のように存在感のあるまち

目指す姿を実現するための戦略目標の設定

1 次のライフステージに希望をもてる

富士市で働きたい・働き続けたい人とその家族が、その時々に応じた最適なワークライフバランスを実現し、幸福感を感じ、次のライフステージに希望をもって進むことができる。

2 企業の生産性と企業価値の向上につなげる

企業は、結婚、出産、子育てに意欲を感じられる働き方を提供し、そこで働く人とその家族を守り、育んでいく企業運営を通じて、生産性を向上させ、企業価値を高めていく。

3 みんなで希望や幸せを共感する社会へ転換

若者・女性に選ばれ、家庭を持つことや子どもを産み育てることの喜びや楽しさを実感でき、希望を持てる社会へ転換する。

3つの戦略目標に対応したプロジェクトを設定

＜戦略目標 1＞ 次のライフステージに希望をもてる

従業員向け

1 「わくわく！ライフ&ワーク」 応援プロジェクト

＜戦略目標 2＞ 企業の生産性と企業価値の向上につなげる

企業向け

2 「ほっかほか！あたたかい職場」 共創プロジェクト

＜戦略目標 3＞ みんなで希望や幸せを共感する社会へ転換

社会全体

3 「にこにこ！みんなでハピネス」 共感プロジェクト

4 政策提言（プロジェクト）

政策提言 ①

「わくわく！ライフ&ワーク」 応援プロジェクト

✔ プロジェクトの視点

- 従業員とその家族のライフとワーク両方の幸福感の最大化
- 「不安や負担」から「余裕がある」「楽しい」「安心」へ変換
- ライフステージに注目し、希望に向けて様々な障壁を取り除く



✔ プロジェクトの成果

- 従業員とその家族が、**ウェルビーイングな状態に近づく**

✓ 余裕がある
(時間・お金・気持ち)

✓ 楽しい
(快適・便利・お得)

✓ 安心
(サポート・共感)

①「わくわく！ライフ&ワーク」応援プロジェクト

施策テーマ

構成事業

1 出会いを応援

出会いや交流の機会を充実し、結婚に対する壁を取り除く

民間提案型「出会い×〇〇」応援事業

婚活アプリ運営会社との連携による
出会い応援事業

民間結婚相談所の入会登録料補助制度
の創設

2 妊娠・出産を応援

妊娠・出産に対する不安や悩みを軽減し、第1子の妊娠に対する壁を取り除く

卵子凍結補助金の創設

無痛分娩補助金の創設

プレコンセプションケアの外来診療・
検査に係る補助制度の創設

妊産婦向けタクシー利用支援事業

市庁舎内「託児室」の設置・運営

3 家事育児の負担軽減

家事育児の負担や経済的な不安を軽減し、第2子以降の妊娠に対する壁を取り除く

手ぶら登園事業の実施

ファミリーサポートセンター利用環境
の改善

子育て応援AIチャットボットの導入

1 出会いを応援

①「わくわく！ライフ&ワーク」応援プロジェクト

推し 民間提案型「出会い×○○」応援事業

～出会いをもっと自由に！～

- ✓ 民間の柔軟な発想を活用して、幅広い参加ニーズに対応し、独身者の出会いの機会の多様化・活性化を図るため、「出会い×○○」のイベントを提案する民間団体等へ補助制度を創設する。

【開催回数】 計5回（テーマフリー×3回、企業間交流目的×2回）

【実施方法】 市が応募要領を作成し、団体・事業者を募集



婚活アプリ運営会社との連携による出会い応援事業

- ✓ 結婚希望者が気軽に安心して婚活できる環境を整えるため、マッチングアプリ運営会社と連携協定を結び、ニーズ調査やセミナー開催、無料クーポンの配布などの連携事業を行う。

民間結婚相談所の入会登録料補助制度の創設

- ✓ 既存の「ふじのくに出会いサポートセンター入会登録料応援金」の対象範囲を拡充し、より本気度の高い方が利用する民間の結婚相談所の利用料に対する助成を行う。

2 妊娠・出産を応援

①「わくわく！ライフ&ワーク」応援プロジェクト

推し

卵子凍結補助金の創設

～キャリアも出産も諦めない～

- ✓ 晩産化が進む中、キャリアも出産も諦めたくない女性の選択肢の一つとなるよう、卵子凍結に係る費用負担を軽減する補助制度を創設する。

【補助対象経費】

卵子凍結に必要な一連の医療行為に係る費用
(卵巣刺激、採卵、未受精卵子の凍結)



推し

無痛分娩補助金の創設

～これで痛みも怖くない、出産の不安を減らします～

- ✓ 出産への不安や心身への負担を軽減し、出産意欲の向上に繋げることを目的に、無痛分娩に係る補助制度を創設する。

【補助対象経費】

医療保険各法の保険給付適用とならない無痛分娩に係る費用
(麻酔手技及び管理料、持続注入手技料、医療材料費、薬剤料)



2 妊娠・出産を応援

①「わくわく！ライフ&ワーク」応援プロジェクト

プレコンセプションケアの外来診療・検査に係る補助制度の創設

- ✓ 若い世代が適切なライフプランを考えるきっかけを提供するため、プレコンセプションケアの外来診療及び検査に係る補助制度の創設や、周知/啓発を行う。

妊産婦向けタクシー利用支援事業

- ✓ 妊産婦が安全・安心に医療機関を受診できるようタクシー利用の支援を行う。

【概要】 タクシー利用券の交付

【期間】 母子健康手帳交付日から1年間



市庁舎内「託児室」の設置・運営

- ✓ 子連れでも安心して来庁できるように市庁舎内に「託児室」を設置する。

【概要】

市庁舎内での手続き、相談、会議出席の際に利用可能な託児室を設置

3 家事・育児の負担軽減

①「わくわく！ライフ&ワーク」応援プロジェクト

推し

手ぶら登園事業の実施

～毎日の支度からの解放！～

- ✓ 日々の登園準備に係る手間を軽減させ、生まれたゆとり時間を子どもと向き合う時間に充てられるよう、紙おむつ等の定額利用サービスを導入する。

【対象】 公立保育園

【料金】 サービス提供事業者と保護者が契約し、保護者が料金を負担



ファミリーサポートセンター利用環境の改善

- ✓ ファミリーサポートセンターの利用会員と提供会員のアンマッチを解消するため、提供会員が受け取る報酬に市独自で上乗せを行い、提供会員の確保・充足を図る。

子育て応援A Iチャットボットの導入

- ✓ 子育てに関する情報収集の負担を軽減し、求める情報をすぐに得ることができるよう、A Iが回答するLINEサービスを導入する。



政策提言 ②

「ほっかほか！あたたかい職場」 共創プロジェクト

✓ プロジェクトの視点

- 従業員にやさしい職場環境を創り、働く満足度を向上させる
- 「小さな一歩」から「大きな一歩」まで支援し、市内へ拡げる
- 企業価値の向上に繋がる持続可能な経営への転換を後押し

✓ プロジェクトの成果

- ウェルビーイング経営で企業価値向上



✓ 従業員の満足度

✓ 人材の確保・育成

✓ 企業イメージ向上

②「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト

施策テーマ

構成事業

1 ワーク環境向上

若者、女性、子育てファミリーが働きやすく、やさしい職場環境づくりを推進する

女性が働きやすい職場環境整備推進補助金の創設

企業内預かり環境の充実(託児スペース、運営、共同設置など)

専門家派遣事業の拡充

2 ライフ充実

様々なライフステージ、ライフスタイルを支え、共に楽しみ、喜びを分かち合う会社経営を後押し

子育てと仕事の両立・柔軟な働き方応援奨励金の創設

従業員の家族向け交流事業開催に係る補助制度の創設

従業員のためのリスキリング・キャリアデザイン支援奨励金の創設

3 人材の確保・育成

多様な人材から選ばれる企業への成長を促進し、「まち」へ人の流れを呼び込む

中小企業等奨学金返還支援補助金の拡充

ユースエール認定企業の若手従業員採用奨励金

就職マッチング（短時間・再就職・副業等）事業

1 ワーク環境向上

②「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト

推し 女性が働きやすい職場環境整備推進補助金の創設 ～女性ファーストの職場づくり～

- ✓ 女性の採用・離職防止・子育て後の復帰先としての環境改善などを目的に、中小企業等が行う職場内のハード整備に対する補助制度を創設する。

【補助対象経費】トイレ・更衣室・休憩室・ベビールーム等の改修費用



企業内預かり環境の充実(託児スペース、運営、共同設置など)

- ✓ 従業員が子育てしながら安心して働ける環境を整えるため、中小企業等が託児付きオフィスや企業合同託児所を設置した場合の補助制度を創設する。

専門家派遣事業の拡充

- ✓ 既存の専門家派遣事業の派遣分野に、子育てと仕事の両立や柔軟な働き方、従業員のためのリスキリング・キャリアデザインなどの「職場環境の改善」を追加し、市内中小企業の抱える課題の解決を支援する。



2 ライフ充実

②「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト

推し 子育てと仕事の両立・柔軟な働き方応援奨励金の創設 ～誰もが働きやすい職場へ～

- ✓ 企業等が従業員の子育てを応援し、柔軟な働き方を実現するために新たな勤務制度等を導入したり、男性育休取得促進の取組を行ったりした場合に奨励金を交付する制度を創設する。



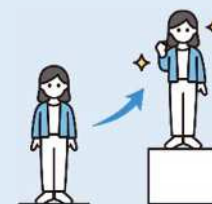
【導入制度例】 ①勤務制度（フレックスタイム制、選択的週休3日制など）
②休暇・休業制度（家族応援特別休暇、ウェルネス休暇など）
③社内支援制度（社内メンター、同僚への応援評価制度の導入など）
【男性育休取得促進】 国の「子育てパパ支援助成金」に該当した場合

従業員の家族向け交流事業開催に係る補助制度の創設

- ✓ 職場全体で子育てを応援したり、従業員の家族同士も交流できるようなイベントなどを福利厚生事業として実施した場合の補助制度を創設する。

従業員のためのリスキリング・キャリアデザイン支援奨励金の創設

- ✓ 従業員のモチベーションを高め、定着率の向上、キャリア形成を後押しするため、資格の取得支援制度や休暇制度、社内副業制度などを導入し、取得スキルの活用環境を整えた事業者向けに奨励金制度を創設する。



3 人材の確保・育成

②「ほっかほか！あたたかい職場」共創プロジェクト

推し

中小企業等奨学金返還支援補助金の拡充

～若者に選ばれる企業へ～

- ✓ 従業員の奨学金返還の負担を軽減し、私生活の充実に繋げてもらうよう、既存の中小企業等奨学金返還支援補助金制度を拡充する。

【拡充内容】

従業員の1人当たり補助額及び1社あたりの上限額を増額



ユースエール認定企業の若手従業員採用奨励金

- ✓ 若者の採用・育成に積極的な企業を後押しするため、10代～20代の若手社員を採用した市内企業向けに奨励金制度を創設する。

就職マッチング（短時間・再就職・副業等）事業

- ✓ 子育て世代が希望する多様な働き方を実現するため、短時間勤務・在宅勤務等の求人の掘り起こしや、合同就職相談会、副業・兼業マッチング支援などを実施する。



「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト

✓ プロジェクトの視点

- 多様な価値観、人生観を尊重し、幸せの形を広げていく
- 子育てをみんなで楽しみ、社会全体の幸せとして共有し、共感を生み出していく
- 行政・企業・市民がともにより良い都市イメージを創造・発信

✓ プロジェクトの成果

- 社会全体でウェルビーイングな状態に進んでいることを実感・共感

✓ 官民連携・深化

✓ 教育・こども

✓ イメージ転換

③ 「にこにこ！みんなでハピネス」 共感プロジェクト

施策テーマ

構成事業

1 官民連携・民間活力

民間の強みやノウハウ等
を活用し、こども施策の
充実、子育て環境を整備
・支援

「こども提案プロジェクト」クラウドファンディング型ふるさと納税寄附募集事業

先進的な子育てサービス提供企業の進出
インセンティブの創設

少子化対策をテーマとしたアクセラレー
ションプログラムの実施・補助額の拡充

企業等との連携による富士市オリジナル
出生お祝い品の贈呈

2 教育・こども

こどもも大人も楽しく、
安心できる特別な時間・
空間を提供し、こどもを
社会全体であたたかく見
守り、育む

夏休み中の屋内こどもの遊び場創出事業

こどものモビリティ確保事業

こどもの遊び場開設補助金の創設

3 戦略プロモーション

若者や女性に刺さるよう
な前向きでクリエイティ
ブなまちのイメージを積
極的に創り発信する

「ユニセフ日本型子どもにやさしいまち
づくり事業（CFCI）」実践自治体登録に
向けた取組の推進

こどもの体験・学び応援事業（STEAM
教育&アントレプレナーシップ教育）

富士市ワークライフバランス推進認証
制度の創設

1 官民連携・民間活力

③「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト

推し

「こども提案プロジェクト」クラウドファンディング型 ふるさと納税寄附募集事業

～こどもの夢をみんなで実現～

- ✓ こどもの意見表明の機会づくり、こどもの夢を実現する仕組みづくりを行い、官民が一緒になり「こどもにやさしいまち」を推進する。



【概要】

こどものアイデアを募り、「こども提案プロジェクト」を立案プロジェクトを実現できる事業者を募集し、クラウドファンディングで資金調達

先進的な子育てサービス提供企業の進出インセンティブの創設

- ✓ 多様な子育て支援サービスを市内で利用できる環境を整えるため、先進的な子育てサービスを提供する企業が本市へ進出する際のインセンティブを創設する。

少子化対策をテーマとしたアクセラレーションプログラムの実施・補助額の拡充

- ✓ 既存の起業支援事業を拡充し、「こども」「子育て」などの分野のスタートアップ企業を呼び込む。

企業等との連携による富士市オリジナル出生お祝い品の贈呈

- ✓ 社会全体で出生を祝福するため、民間事業者が提供してくれる品物をギフトBOXにして出生世帯に贈呈する。

2 教育・こども

③「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト

推し

夏休み中の屋内こどもの遊び場創出事業

～快適で楽しい夏をお届け！～



空調の効いた屋内施設で、こどもが安全・安心・快適に楽しく過ごせる環境を整えるため、移動式の屋内遊具を用いた屋内遊び場を創出する。

【会場】北里アリーナ（富士市総合体育館）

【開催時期】夏季休暇期間中（7月下旬～8月下旬）



こどものモビリティ確保事業



交通弱者であるこどもの移動しやすさを確保し、保護者の送迎の負担を減らすため、こどものモビリティの確保・充実を図る。

こどもの遊び場開設補助金の創設



地域のにぎわいと子育て環境を充実させるため、市内でこどもの遊び場を開設する民間事業者に対し、開設に係る補助制度を創設する。

3 戦略プロモーション

③「にこにこ！みんなでハピネス」共感プロジェクト

推し

「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）」 実践自治体登録に向けた取組の推進

～世界基準のこどもにやさしいまち～

- ✓ 本市のこども関連の取組について、外部機関による評価を受けることで、市のイメージアップを図る。
 - ・ユニセフが定める「こどもにやさしいまちの世界基準」によって取組状況を見直したうえで、日本ユニセフへ申請を行い、実践自治体としての承認を目指す。



推し

こどもの体験・学び応援事業 （STEAM教育&アントレプレナーシップ教育）

～こどもの可能性を広げよう！～

- ✓ 学校教育の場以外で、こどもが体験し学ぶことのできる機会の充実を図り、こどもの可能性を応援するため、近年注目されるSTEAM教育とアントレプレナーシップ教育を一連のプログラムにして通年で実施する。

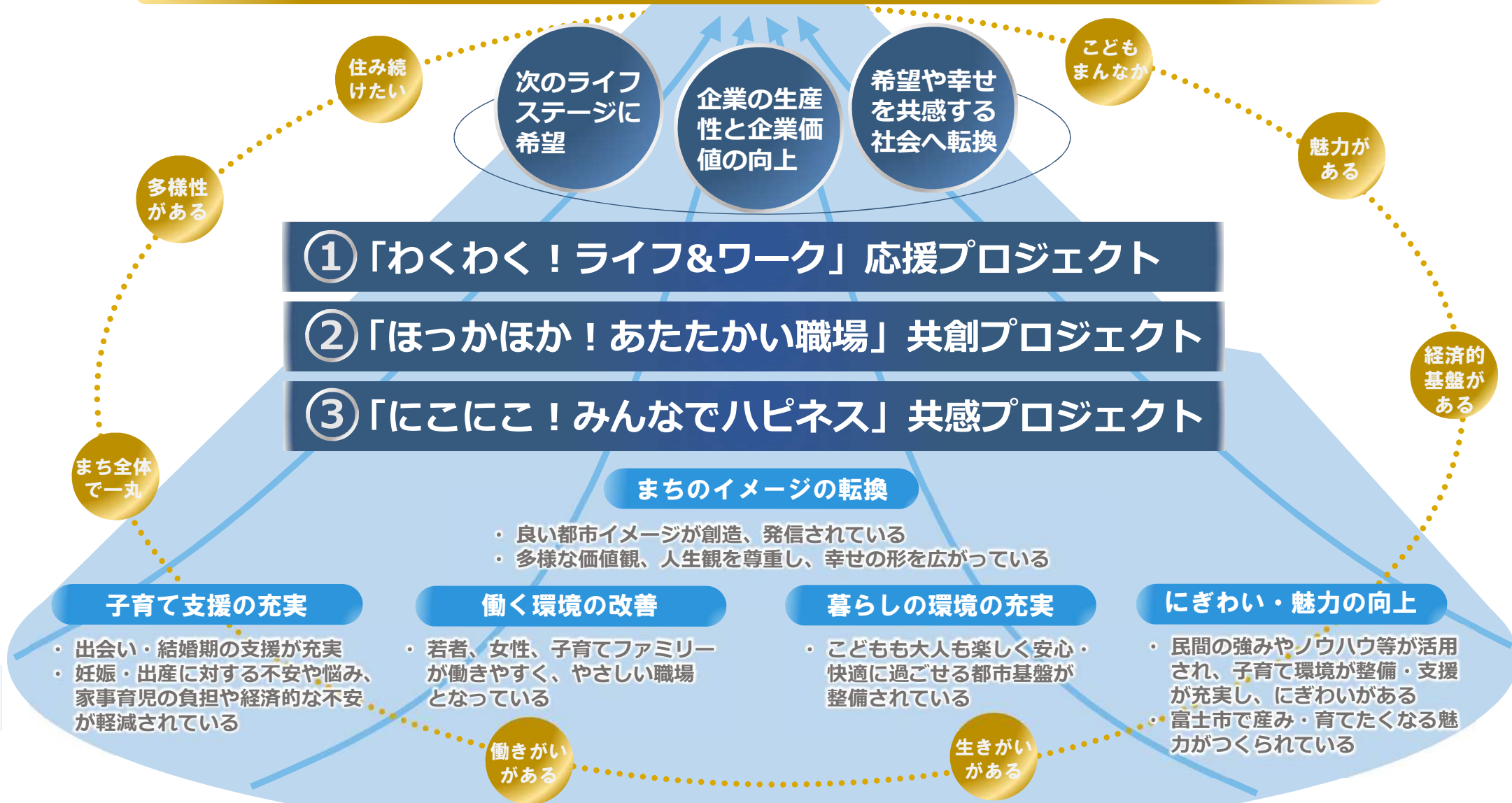


富士市ワークライフバランス推進認定制度の創設

- ✓ 働きやすい職場環境づくりを促進し、国が定める認証制度への取得を目指す企業等の裾野を広げることを目的に、ワークライフバランスの推進に積極的に取り組む企業等を市独自で認定し支援する制度を創設する。

政策提言のイメージ（アウトライン）

～「ウェルビーイング」を実感できるまち～



富士市の今後の少子化対策に関する政策提言書

2025年（令和7年）10月15日
少子化対策緊急タスクフォース